

第4分科会

これからの大学と大学教職員に求められる課題

分科会概要：

アフターコロナ、ウィズコロナの社会では、従来とは異なる観点から、よりよい働き方、よりよい暮らし方、よりよい経済・社会のあり方が求められるようになってきている。それに対して大学はどのように応えていくのだろうか。本分科会では、ウェルビーイングとアカデミック・コミュニケーションという2つのキーワードを提示する。

分科会ではまず、飯塚まり先生に、これからの社会に求められるウェルビーイングと、ご自身が実践される授業についてお話しいただく。ウェルビーイングは「幸福や健康」を指すが、個人だけではなく組織や社会の視点も含む概念である。

次いで、谷本寛治先生に、アカデミック・コミュニケーションの観点から、よりよい大学教育のあり方についてお話しいただく。アカデミック・コミュニケーションは研究者育成という観点だけではなく、あらゆる大学人に向けたリテラシーである。

最後に、両者のお話を踏まえて、今後のよりよい大学教育のあり方について議論する。

<プログラム>

10:00 趣旨説明 京都産業大学経営学部 在間 敬子 教授

10:05 講演 1. 同志社大学大学院 ビジネス研究科 飯塚 まり 教授
「これからの大学とウェルビーイング（個人、組織、社会、地球）」

10:45 講演 2. 早稲田大学 商学学院商学部 谷本 寛治 教授
「これからの大学・研究者とアカデミック・コミュニケーション」

11:25 質疑応答 講演者とフロアから

11:55 まとめ